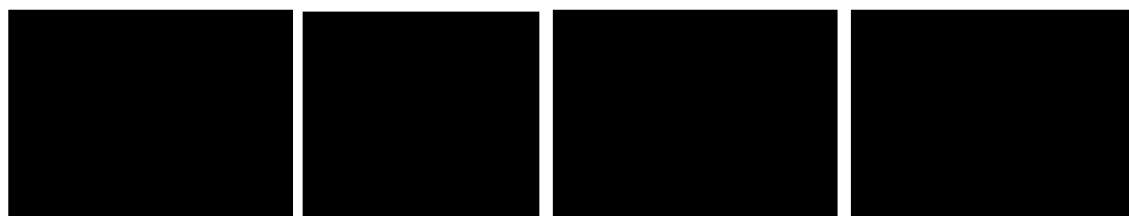


かけはし

44 期生 No.8
2023 年 6 月 28 日 (水)

日常の中の「気になること」について、みんなで考えました。



6 月 19 日 (月) 6 時間目の総合の時間に、各クラスで日常のなかの「気になること」について考えました。日常生活にありそうな場面を描いた、映像「〇〇さんの日常」を鑑賞し、映像の中で自分が気になったポイントを探し、「なぜ気になったのか」考え、そして、班で共有、話し合いをしました。どのクラス、どの班も、みんな真剣に話し合い、よく考えることができていました。

人それぞれ感じ方が「違う」

話し合いの中で「気になることは人それぞれ違う」ということに気付けた人が多くいたようです。その「違い」を知らずに自分の距離感、価値観だけで接してしまうと、徐々に気持ちのすれ違いが起こってしまいます。その、すれ違いの積み重ねが、時として「いじめ」に繋がってしまうのです。自分は楽しいと思っていても、相手はそうではないかもしれません。人それぞれ感じ方や捉え方が違うので、相手がどんな気持ちかを考える事、そして、「やめて」と言われたりしたら、素直にやめることも大切です。

おさらい ～「いじめ」とは～

- 「行為を受けた者が、心や身体に苦しさや痛みを感じた」場合は「いじめ」となります。
- その人が「いじり」や「ふざけ」や「遊び」と考える行為であっても、その相手が「嫌だ」「つらい」「やめてほしい」と感じていたら、その行為は「いじめ」となります。
- やった人の「そんなつもりじゃなかった」ということは通用しません。相手が笑顔だったとしても、普段から仲良くしていたとしても、場合によっては「いじめ」になります。
- 人数、時間の長さ、回数、ケガがあるかどうかなどは関係ありません。1 対 1 でも、1 回だけでも、ケガがなくても、場合によっては「いじめ」となります。

みんなの嫌だと感じるところ

ふりかえりの中で多くの人が書いていた「嫌やなあ」と感じることを一部紹介します。

- こそこそ話
- 距離感が近すぎる
- 下ネタ
- 悪口・陰口・嫌味
- アイコンタクト・めくばせ
- 言動に対してクスクス笑う、不自然な笑い
- 口調がきつい
- にらまれる
- 過度ないじり
- 人によって態度や口調を変える
- 物を勝手に触る
- うわさ
- 変なあだ名
- 無視

全ての人にとって居心地の良い学校を目指して

もう一度、自分自身の言動を見つめ直してみましょう。周りの人に嫌な思いをさせていることはないでしょうか。周りの人と一緒になって誰かに嫌な思いをさせていないでしょうか。嫌な思いをしている人がいるのを、見て見ぬふりしていないでしょうか。

全ての人にとって居心地の良い、安心できる学校をみんなで作っていきましょう。

「ふりかえり」の一部を紹介

■ 僕は今回の授業を通して、自分が面白くても他人が面白くないことがあるんだなと思いました。あと、学校生活においても、みんなの気づかいで初めて成り立っているんだなあと思ったので、これからは自分も周りに気遣い、優しく出来る人間になりたいと思いました。

■ 普段の自分をふり返ると、自分は冗談でいっていることでも他の人は嫌と感ずることがあるかもしれないと思うし、私も傷つくこともあったので、友達との関わり方を考えないとなと思った。ネットで友達の悪口を言っている子もいたりして、私のこと言われているんじゃないかと思ったことがあるので共感できた。

裏面に続きます

■ 自分の中では何気ない瞬間と思っている部分でも、他の人はここは駄目なのではないかという、自分とは違う意見がいくつかあったので、いじめの定義が人によって違うことがよくわかった。

■ 普段の自分も、悪くいつてしまったり、相手を傷つけてしまっているのかもしれない。逆に、知らない間に悪いことを言われていることもあるのかなと考えだすと、すごく怖くなって心配になるなと思いました。だから、これからは良い事が悪い事が分からなくなったらすぐにやめようと思ったし、見つけたら、仲間になるんじゃないかと、出来るだけ注意し、傷ついている側の味方になろうと思いました。

■ 人によっていじめの基準とか感じ方はそれぞれなので、自分の考えを押し付けずいろんな人の考えを逆に自分の考え方のヒントにできるようにしていきたいと思いました。

■ 今回の授業で、自分がやっていることが相手にとっては嫌だなと思っているかもしれないと思ったし、自分のこれからの行動を気を付けようと思いました。私は仲良い子とはけっこう話せるけど、あまり話したことない人や、相手のことをよく知らない人には少し消極的に話してしまうけど、それが相手を傷つけているかもしれないとわかりました。また、自分が気づいていないだけで相手に嫌な思いをさせているかもしれないと思ったので、今までの自分の行動を思い出して、これからは自分が気を付けないと思ったことは改善して、そのような「嫌だな」と思う人が出来るだけ少なくなればいいなと思いました。

■ 誰かの行動に対して思うことは一人一人違うんだなと実感しました。だから、もしかしたら自分がされたら別に嫌じゃないから、やっても大丈夫と思ってやっていた行動が、誰かを傷つけていたり悲しませていたりするんじゃないかなと思うと、やって良いことと悪いことのはっきりした分かれ目がないのが一番怖いことだなと思いました。

■ 自分が悪気なく普通に話したことなどが、相手にとっては嫌なことなのかもしれないということを考え、相手が嫌そうにしていなか見て話そうと思った。自分がされて嫌なことは、相手にもしない。

■ 関係ないことで笑っていても、他の人をバカにしていると勘違いされてしまうことがあるかもしれない、感じてしまうことがあるかもしれないと思った。こういうことが起きないようにするためには、いろんな人と話したり、仲良くなっていくことが大切だと思いました。自分と性格が合わない人もいるかもしれないけれど、バカにすることは無いようにしていきたいと思いました。

■ 距離感が大切だと思った。自分の許せる距離感というのは人によって違うから、だから自分も気を付けようと思った。それと教室に入ったときにこそこそ話されるのは気分がいいものではないし、自分のことかとも思うと怖くて学校に行きたくなくなるからしないように気を付けたいし、みんなも気を付けてほしい。みんなが明るく助け合えるクラスにするには距離感・相手の気持ちを尊重して過ごすことが大切だと思った。

■ 普段、自分が思っているより周りの人のことをちゃんと見れていないのかもと思った。だからクラスの人達のこと嫌な思いをしている人がいるなら、少しでも気づけたらいいなと思った。友達の意見を聞いて思ったことは、同じところで気になるところがあっても、思うことは違うっていうことに気づいた。だから変な勘違いが起こるかもしれないし、いじめや雰囲気が悪いと思われることがあるかもしれないと思った。

■ 今回の授業で、動画の中で気になることを班で話してみたが、それぞれの嫌だと思うポイントや、嫌だと思う理由など、全部同じではありませんでした。そのため、自分が悪気なくいったことも、相手や周りの人からは、嫌だと思われるかもしれないなと思いました。自分は相手を傷つけたり、嫌な思いにさせたりしないように、一つ一つの言動に気を付けていきたいなと感じました。また、そのためには、いろいろな視点、いろいろな立場にたって考えてみるのが大切だと考えました。これからは常に意識して行動したいです。

■ 自分はいじめていない、仲良くしているだけと思っていても、相手は傷ついているかもしれないから、そう思われぬように発言内容に気をつけたり、こそこそ話をしないようにしたり気を付けようとおもった。

■ 普段の自分をふりかえって思ったことは少し強く接していたと思うので、少し弱く、強くない口調・接し方を意識していこうと思います。友達の意見で思ったことは人によって感じ方が違うと思いました。なので、常に気を配りながら話していこうと思います。また、自分がされて嫌だと感じたことは口に出して言おうと思います。

■ 僕も友達も人間なので、悪いことを思ってしまうのはしょうがないと思いますが、それをわざわざ他の人に見える、聞こえる場所で言うなと毎回思います。友達の意見を聞いていても、やはり裏でこそこそ言っていることはよくないことなので、自分ももししてしまっていたらそういうことをしないように心がけようと感じました。

■ 普段、友達と目が合ったときに相手からしたら睨まれていると感じている人もいるかもしれないから、真顔じゃなくて笑顔にしたり、挨拶するようにしたい。

■ 人の考え方は一つだけじゃなくて人それぞれに感じることや、考え方があることを改めて感じました。相手の様子をうかがいながら接していくことも大切だと思いました。考え方は違うと言ってもダメな所の基準はあるので、あきらかにダメなことや、してはいけないことをしっかり考えながら学校生活していきたいです。少しでも相手が嫌な思いや辛い思いをしていたら「いじめ」につながると改めて思い、仲良くしている友達を大切にしていこうと思います。